



# あかし テーマ 「証」

～無理かもしれないことも、本気になってやってみよう～

■平成22年 4月24日(土) 松本県ヶ丘高等学校 体育館

同期生379人の、全員の母校に寄せる気持ちをひとつにたくて、ひとり最低1キロを襷をかけて走りました。

それぞれが、思いおもいの場所を、同じエンジ色の襷をかけて走りました。

世界の各地で、暑い日も寒い日も、一人で、家族で、仲間と…

私たちの思いは、在校生の皆さんの胸の中に、きっとなにかを残せたと思います。

そして、走った私たちの中にも「証」…



正直、最初は「エ〜」と思いましたが、実際に走ってみると気持ちの良いですね。「証」～無理かもしれないことも、本気になってやってみよう～…、実際にやってみたら、色々新たな発見もありました。



皆がしんどいと思いきや、笑顔が溢れ出しカメラに手を振る御人も…。きつかったけどみんなで楽しくやれて良かった。なんと場所を変え、頑張った全員がもう1km走破！凄いですよ



「愛のリレー」のおかげで久しぶりに同級生の仲間に会え、忘れていたこと、知らなかったこと、様々な昔話に花が咲きました。この企画がなかったらみんな会えることはなかったかも、と思うと「愛のリレー」そして企画委員のみなさんに感謝です。



D組の最終撮影会が、松本城で開催されました。成人式とあめ市が重なり、沢山の人が出でましたが、お堀沿いに一人1周走りました。かなりの寒さでしたが、1キロ走るとカラダが暖まってきました。



映像を見直してみると結構面白いですよ。みんなすっぴんのおじさん、おばさんのはずなのに、見ているうちになんだか高校時代と変わらなく感じてきて、当時は思い出しつついつい顔がほころんでしまいます。



午前中は、あがたの森で10名がキチンと1キロずつ走りました。午後からは出身の中学校を回ったり、その後あまりの天気の良いさにつられて、6名の役員で、美ヶ原高原まで行って撮影して来ました。富士山がくっきり見える晴天に恵まれ、最高の撮影会でした。



3月7日、朝8時集合 もう、春が来てたのに…この日、最後の撮影会は雪でした。連綿ながら走れなかった仲間の分、先に天国に逝ってしまった仲間の分を走らせてもらいました。



式典では、378人のランナーが走った記録を、ビデオで紹介しました。そして379人目、最終ランナーが県陵のステージに到着、遠藤実行委員長と感動の握手！



↑ 30年前の怖かった応援練習風景を再現。「声がちっせーわあ！」

→ 在校生の皆さんに向かい、エールを送る。県陵生というだけで、ひとつになれる不思議さこそが「証」。



美ヶ原温泉ホテル翔峰での懇親会に120人を超える参加者

あなたは、夢を語れますか？無理かもしれないけど、やってみたいことはありますか？

私たちは、無理かもしれない・夢みたいなことを…こんな形で、やってみました。

どうしても、全員参加の記念事業にしたかったのです。

そこに集う、すべての人々がつくる時間を、大切な『証』にしたかったのです。

## 縣陵三十二期会 The 32nd Graduate in high school

Sunnyの意味は？

①日がよく照り輝く、晴天の ②太陽のような、太陽からの黄金色の光 ③陽気な、快活な… 夢というものを失いそうな社会情勢の中だけど、めげてなんかられない。みんなに明るい陽ざしを射し込もうよ！ そう…32(期会)をサニーと読んだのは、私たちの願いでもあるのです。